

岡本 崇子 さん (器人器人[キトキト])

**どんな事業をしていますか？**

「手仕事もの」の器や、器にまつわる雑貨作家さんから仕入れて販売しています。また作品展を年4回程、ワークショップを年3回程店内で開催しています。お店に置く商品を選ぶ基準は、まずは直感で、次に手のぬくもりや個性を感じるものです。また、実用性も重視しており、使いやすく、お手頃で、普段使いができるものを扱っています。

起業のきっかけは何でしたか？

10代の頃からインテリアや雑貨が好きで、雑貨メーカーに勤めました。ある日近所の方から頂いた信楽焼のお皿に手料理を盛り付けた時の、いつもと違う見栄えに感動し、趣味で器を作りたいと思うようになりました。

偶然信楽焼の陶器市に行ったところ、20代~30代前後の若い陶芸家が、素敵な雑貨屋に置かれているような器を手頃な価格で販売しており、信楽焼の印象が180度変わりました。陶器市をきっかけに、自分で作品を作るのではなく様々な所で気に入った器を買って楽しみたいという想いになりました。

勤めていた会社で将来の自分が見えなかったことから退職を決意し、有給休暇の消化中に沖縄県へ一人旅に出ました。旅の先々で出会う人の考え方に触れ、自分が生きている世界の狭さを感じました。

仲良くなった方が、現状をマイナスに捉えず自分の夢を叶えるために工夫して努力しており、自分も漠然と抱いていた「自分の店を持ちたい」という夢を行動に起こしてみようと思いはじめました。

奈良市の奈良きたまちにお店を出そうと物件を探し始めましたが、なかなか見つからず、4年経とうとしていました。そんな中、偶然相談した知人が奈良きたまちに長く住んでいるというカフェのオーナーを紹介してくれました。そのオーナーが、ちょうど空いていた一軒家を紹介してくれ、同じように物件を探していた方と共同でその建物を借りることになりました。

また、物件を探しているときに知り合った舞台美術を手掛けている方に偶然再会し、その方がお店のデザインと施工を担当してくれました。

こうして出会う方皆が背中を押してくださり、物件が決まってから約半年後の2011年に器人器人をオープンしました。



起業してよかったこと、楽しかったことは何ですか？

作家さんの器に対し、「高い」や「使いづらい」といったイメージを持っているお客様は多いです。お客様の持つそのような敷居の高いイメージを低くできた時が一番嬉しいです。また、お店をきっかけに作家さんやお客様、または作家さん同士がつながっている様子を見ると嬉しいです。

事業を拡大、または新サービス・商品を開発する中で乗り越えてきた課題は何ですか？

多くの作家さんの商品を仕入れており、商品が持つ雰囲気は様々です。そのそれぞれの雰囲気をお客様に伝えるため、商品の配置をこまめに変えたり、器を使うシーンをイメージしてもらえるような配置にしたりと工夫しています。例えば、湯呑を小鉢のように使った配置や、ミルクピッチャーに花をかざって花瓶のようにみせる配置をし、使い方を提案しています。また、ワークショップや作品展、縁日などのイベントを行いお店にメリハリをつけ、お客様に楽しんでもらうことはもちろん、作家さんにもお店にもいい変化をもたらせられたらと考えています。

今後の夢、将来展望はどんな風にお考えですか？

自分のペースで少しでも長くお客様に愛されるお店にしたいと考えています。その上で自分は、あくまでお客様の買い物を手伝う立場であり、作家さんの商品をより多くの人に知ってもらいたいと思っています。現在見えている課題は、冠婚葬祭や仕入れのために自分がお店を空ける必要があることです。休業日だと知らずに来店してしまい「せっかくここまで来たのに」というお客様もいらっしゃいます。従業員を雇う余裕はないですが、この人がいてくれたら安心という、少しの間お店を任せられる方を探しています。



他の女性起業家・起業準備者へのメッセージをお願いします。

やりたいと思う気持ちを様々な人に話してほしいと思います。そうすることで様々なヒントをもらえるだけでなく、やりたいことに関係する人にもつながっていきます。物事を進める上で、人それぞれ必要なものを培うために必要な期間があると思います。進まないことに焦らず、「自分にとって必要な時間だ」と思いながら、頑張してほしいと思います。「この時だ」と思う瞬間があると信じ、その瞬間が来たら躊躇せず飛び込んでもらいたいです。

企業情報

商号 器人器人[キトキト]
業種 小売業
起業年 2011年
企業HP <http://kitokito26.exblog.jp/>
所在地 〒630-8286 奈良市東包永町 61-2
連絡先 0742-26-8102

